



日本共産党

北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.302 2014.4.23

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

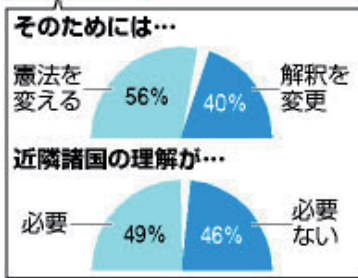
ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

## 安倍政権がねらう集団的自衛権の行使容認

# 戦争する国づくりは **ダメ**

## 「朝日」世論調査ではっきり

集団的自衛権について  
行使できる  
ようにする 29%  
行使できない  
立場維持 63%



憲法9条を…  
変える方がよい 29%  
変えない方がよい 64%

自衛隊を国防軍にすることに…  
賛成 25%  
反対 68%

非核三原則を…  
見直すべきだ 13%  
維持すべきだ 82%

武器輸出の拡大に…  
賛成 17%  
反対 77%

今の憲法を…  
変える必要がある 44%  
変える必要はない 50%

その他・答えないは省略

4月7日付「朝日新聞」より

安倍政権が閣議決定で集団的自衛権の行使を容認しようとしているものと、4月7日付「朝日新聞」が発表した世論調査では、「行使できない立場を維持する」が63%（昨年は56%）に達し、「行使できるようにする」の29%を大きく上回りました。

憲法9条については、「変える方がよい」29%に対し、「変えない方がよい」は64%、憲法そのものについても、「変える必要はない」の50%が、「変える必要がある」の44%を上回りました。

さらに、集団的自衛権

## 20代女性 7割が戦争の危険「大いに感じる」

を行使できるようになったら、日本が戦争に巻き込まれるかもしれないという不安をどの程度感じるかを問う設問では、「大いに感じる」52%と、「ある程度感じる」36%で88%となり、20代の女性では70%が「大いに感じる」と回答しました。

同調査の結果については、水島朝穂早大教授は、武力行使に対する有権者の強い拒否感を指摘し、「前のめりで強引な施策を押し通す政権は、いずれ有権者の手痛いしっぺ返しを受けるだろう」とコメントしています。

志位和夫委員長が訴えます

# 日本共産党演説会

5月24日(土)午後1時30分 渋谷公会堂

主催/日本共産党東京都委員会 ●お問い合わせは ☎090-2156-3510(のの山)まで



# 心に残る2つの映画

20日、北区男女共同参画推進ネットワークの「2014 ねっとわーくまつり」で上映された「いわさきちひろ～27歳の旅立ち～」。現在渋谷のユー

ロスペースで公開されている韓国映画「チスル」。いずれも戦争と平和の問題に正面から向き合った、2つの映画を鑑賞しました。(のの山けん)

## いわさきちひろ ～27歳の旅立ち～

誰もが一度は目にしたことがある子ども絵。映画は、絵本画家として知られるいわさきちひろの波乱万丈の人生に迫ったドキュメンタリーだ。

大好きな絵を自由に描くことが許されなかった青春時代。ちひろは望まぬ結婚を親から強要され、27歳にして人生の挫折を味わう。



自らの意志で画家として生きてゆく覚悟を決めた時に、生涯の夫、松本善明と出会い、最愛の息子、猛をもうけることになる。子どもを描き続けたいちひろが、最後まで視線を向け続けたのは、ベトナムの戦火で逃げ惑う子どもたちであった。一度は失った人生を取り戻そうと必死にもがくちひろ。その葛藤は、愛と自由が戦争とは対極にあることを教えてくれる。

## チスル

再び「戦争する国づくり」の危険が迫る今だからこそ、多くの人々に観てほしい作品だ。

36年にわたる日本の植民地支配から脱した直後の朝鮮半島で、国の南北分断が決定的になると単独選挙に反対した済州島(チェジュド)の住民を「暴徒」とみなし、韓国軍と警察が無差別に虐殺する事件が起きた。掃討作戦は7年7カ月に及び、犠牲者は3万人に達するとされているが、韓国国内でも未だ真相は十分に究明されていない。

映画が克明に描いているように、実際に犠牲となった人々の多くは、暴徒でもなく、「アカ」と呼ばれた共産主義者でもない、ごく普通の村民たちであった。理由もわからず殺し、殺される理不尽さが悲劇を増幅させる。済州島出身のオ・ミヨル監督は、韓国現代史で深い傷となっているこの事件を「世界的な関心事」となるべき史実」との思いで映画にしたという。チスルとはじやがいの意。洞窟で身を寄せ合う村民の姿を象徴するとともに、焼かれたいもは決定的な場面に登場する。

